

2025年1月19日 顕現後第二主日礼拝説教  
「だれかのために」(Iコリント12章1～11節)

○Iコリント12章3節のみことば

「聖霊によらなければ、だれも『イエスは主である』とは言えない」  
聖霊の助けを受けないと、わたしたちは、心から「イエスは救い主」と言い表せず、御霊の力によってのみ、十字架の赦しに依り頼んで、神の憐れみを願い求めることができる。

※聖霊なる神が、あなたのうちにいることは、「イエスこそわたしの救い主です」と褒め称えるたびに確かめられる。

「賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ霊です。」(4節)  
神は、わたしたちをとおして、聖霊の生ける働きを起こす。その現れは、おのおの違うが、神は、あなたと共に生きる御霊によって、キリストを交わりのうちに示されていく。

今日のみことば：Iコリント12章7節

「一人一人に“<sup>ひとりひとり</sup>霊”の<sup>れい</sup>働きが<sup>はたら</sup>現れるのは、<sup>あらわ</sup>全体の<sup>ぜんたい</sup>益<sup>えき</sup>となるためです。」

\*全体の益となる：【原語】共に同じものを受ける

聖霊の働きは、限られた人でなく、ひとりひとりをとおして現われるが、それは、みわざを起こされた者の独り占めとするのではなく、ほかの兄弟姉妹と同じ恵みを分け合うため。

※わたしたちは、交わりのうちで、お互いに、御霊の働きを受け与え、助け合いながら、キリストへと向かっていく。

「“霊”は望むままに、それを一人一人に分け与えてくださる」(11節)

①望むまま：【原語】(神の)御心に従って

②それ：聖霊が、信じる者のうちに現される働き

☞聖霊が、ひとりひとりをとおして語る言葉、導く祈りや交わりによって、共にキリストを崇め、だれかの救いに役立つため、わたしたちは、この教会に集められている。